



～ 育苗期間は1ヶ月以内！老化苗を防ごう!! ～

育苗準備(育苗計画)

- ・老化苗の移植を防ぐため、田植え時期に合わせた播種計画を立てましょう。
(詳細は裏面を参照)

土・苗箱・種籾の準備

育苗箱・床土・種籾の目安 (10a 当たり)

	50株植	60株植
箱 数	15 箱	18 箱
床 土	75 g	90 kg
種 籾	1.8 kg	2.2 kg

種 子 消 毒

- 【水稻消毒種子の場合】
種子消毒期間中、最初の3日間は水の交換をしない。

浸 種

- ・水温は10～15℃に保つ。
- ・浸種期間の目安は積算温度(水温×浸種日数)で100℃以上、
コシヒカリ等の休眠の深い品種は120℃を確保する。
- ・浸種水量は種籾の2倍以上とする。水は1～2日毎に交換、後期は
呼吸量が盛んになるので、毎日交換する。

種籾発芽向上のポイント

1. 浸種水量は種子籾の2倍 (籾1kg : 水2ℓ)
2. 浸種当初の水温は10℃以上を必ず保つ
3. 可能な限り、こまめに水の入れ替え

催 芽

- ・催芽温度が高いと、もみ枯細菌病・褐条病の発生を助長する。
- ・催芽を揃える(9割以上)。

催芽温度	最適催芽程度	日数
30℃	1～2mm(ハトむね)	1.6～2.0日

播 種

1箱あたりの目安		注意事項
乾籾重	120g	・厚播は障害苗が発生しやすく、苗質を弱くします。 ・コシヒカリの播種は4月に行いましょう。
催芽籾重	150g	・播種同時散布可能箱剤については裏面を参照。

か ん 水

- ・かん水量は1箱当たり0.8～1.2リットルで、箱の底まで床土が湿った状態が目安となります。
- ・カビ予防をかねて、ダコレート水和剤の 500 倍液を1箱当たり500ml 灌注する。

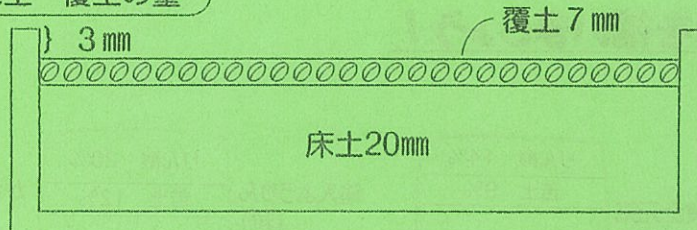
厳守

- ダコレート水和剤の使用は、播種時から緑化期(但し播種後14日まで)で2回以内です。
※播種時1回、ハウス内(緑化期まで)1回の使用としてください。

覆 土

覆土の厚さは7mm 程度とし、1cm以上の厚さには絶対にしないこと。

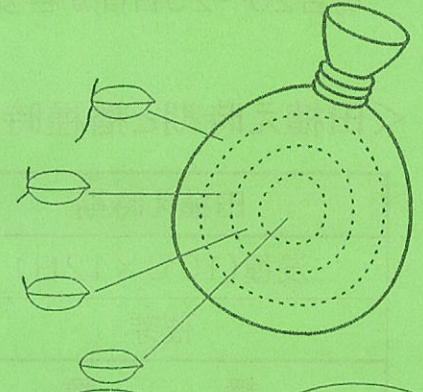
床土・覆土の量



出 芽

- 温度ムラに注意し、芽の揃いを良くしよう。出芽器内の温度は
昼夜とも30℃にし、2～3日を目安とする。
- 芽の長さが8～10mm(ゆめみづほ10mm)が最適です。

袋詰めのポイント



袋内の外側と内側で幼芽・幼根の伸びにバラツキがでます。
種籾は袋に半分程度にして、催芽そろいを良くしましょう。

浸種期間の目安 (積算温度100℃以上)

品種名	水温	10℃	15℃
コシヒカリ ゆめみづほ		12日間	8日間
カグラモチ		10日間	7日間

良好な催芽



ハトむね程度
(播種に最適)

伸ばしすぎ



催芽籾150g(乾燥籾120g) 播き【原寸大】

田植え時期に合わせて浸種を開始しよう！

播種は田植え時期から逆算して計画的に行いましょう。 育苗期間は1ヶ月以内です！

播種が早いと育苗期間が長くなり老化苗になりやすく、田植え後の活着が悪くなります。また、ハウス管理にも負担が掛かります。

育苗期間(播種から田植えまでの日数)はその時期の温度により異なりますが、稚苗で5月10日頃までの田植えの場合20～25日間が目安となります

＜田植え時期と播種時期の目安＞

田植え時期	5/1	5/5	5/10	5/15
浸種(10℃×12日)	3/23～	3/30～	4/6～	4/10～
催芽	4/4～	4/11～	4/18～	4/23～
播 種	4/6	4/13	4/20	4/25
出芽(2.5日)	4/6～	4/13～	4/20～	4/25～
ハウス管理	4/9～	4/16～	4/23～	4/28～
ハウス管理期間	22日間	19日間	17日間	17日間
播種～田植え	25日間	22日間	20日間	20日間

※5月20日以降の田植えを検討している方は、最寄りのJAまたは農林事務所までお問合せ下さい。

床土混和・播種時散布可能な育苗箱施薬剤

ファーストオリゼプリンス粒剤6（コシヒカリに使用）

使 用 期 間:は種前・は種時(覆土前)

適用病害虫:いもち病、白葉枯病、イナゴ類、ウンカ類、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ

使 用 量:育苗箱1箱当たり50g

特 徴:いもち病に対し高い効果 ※は種時(覆土前)までしか使用できません。

嵐プリンス粒剤6（ゆめみづほに使用）

使 用 期 間:は種前・は種時(覆土前)～移植当日

適用病害虫:いもち病、紋枯病、ごま葉枯病、イナゴ類、ウンカ類、イネミズゾウムシ、イネツトムシ、ニカメイチュウ

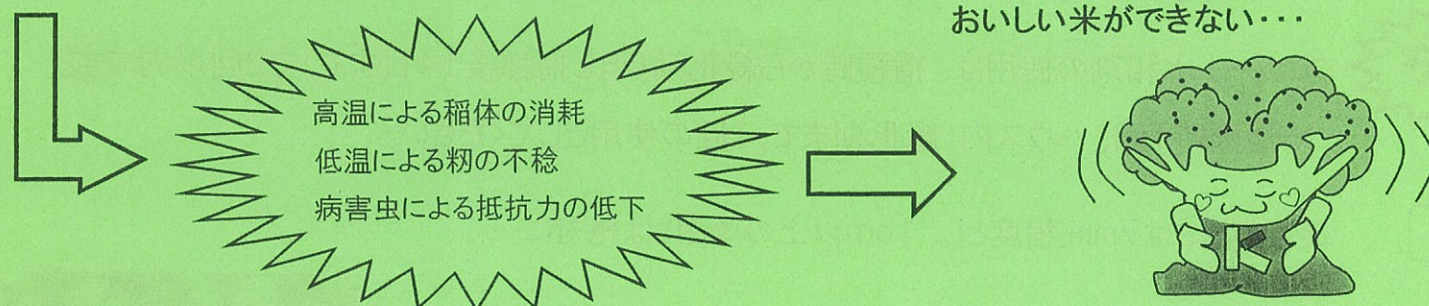
使 用 量:育苗箱1箱当たり50g

特 徴:移植当日まで使用可

紋枯病に対し効果があり、ゆめみづほの出穂前防除を省略できる

※イネドロオイムシが発生した圃場では、ゆめみづほにはエバーゴルプラス、コシヒカリにはファーストオリゼフェルテラ粒剤を使用する

加賀市の土壌は、りん酸・けい酸が少ない!!



☆土づくり資材を施用して不足している成分を補いましょう！

☆土づくり資材は春散布も可能です！

加賀土元気 (100kg/10a)	りん酸 14% 苦土 9% アルカリ分 44% けい酸 21%	輸入ようりん (粒) (100kg/10a)	りん酸 20% 苦土 12% アルカリ分 45% けい酸 20%	かがやき土アップ (100kg/10a)	りん酸 5% 苦土 9% アルカリ分 42% けい酸 24%
----------------------	--	------------------------------	---	-------------------------	---

稲に吸収
されやすい
けい酸を含
んでいます。